

# いざ、まいらん、紅葉ヶ丘へ！

横浜・紅葉ヶ丘、5館の文化施設。「木のホール」として知られる日本最初の公立音楽専用ホール・神奈川県立音楽堂、コンクリートの箱をくりぬいて作ったような大胆な建物と大きな庇が特徴的な神奈川県立青少年センター、大きなガラス・サッシュや穴あきのレンガブロックで明るく透明感あふれる神奈川県立図書館、市民の芸術拠点として1964年に開館し、2014年に伊勢山に移転した横浜市民ギャラリー、140年余りの歴史ある能舞台を持つ日本の古典芸能専門施設・横浜能楽堂が、それぞれの魅力的なイベントを開催します。ぜひ5館巡ってください。

## 音楽堂ルネサンス マルシェ&コンサート

神奈川県立音楽堂  
045-263-2567

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>



音楽堂 ホール ©青柳聡



アントネットロ

2019年10月12日(土)  
マルシェ 10:00～夕方まで  
建築ツアー 10:00～11:00  
コンサート 13:30開場 14:00開演

音楽堂アフタヌーンコンサート 古楽アンサンブルアントネットロによる「没後500年レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」公演前にホワイエを開放。「ルネサンス」や「イタリア」をテーマに、ミニマルシェやミニライブ、約60分の建築見学ツアーなどをお届けします。名建築・音楽堂の光溢れるホワイエでイタリアワインと芸術を味わおう!? 午後のひと時を思い切りお楽しみください。

音楽堂アフタヌーン・コンサート  
「没後500年 レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」  
2019年10月12日(土) 13:30開場 14:00開演 全席指定 一般3,500円 学生(24歳以下)2,500円  
横浜音楽祭2019パートナー事業 後援:横浜アーツフェスティバル実行委員会  
英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート  
2019年10月14日(月・祝) 17:30開場 18:00開演 全席指定 S席5,000円 A席4,000円  
申込:チケットかながわ ☎0570-015-415(10:00～18:00) 音楽堂窓口(13:00～17:00/月休) Web24 時間

主催:神奈川県立音楽堂(公益財団法人神奈川県芸術文化財団) 協力:bridge

### 会場紹介

1954年、前川國男の設計により県立図書館とともに国内初の公立音楽専用ホールとして開館した県立音楽堂。『東洋一の響き』と絶賛された音響をもつホールには、開館以来、多くの世界的音楽家が訪れ、戦後モダニズム建築の傑作とされる建物とともに愛されてきました。開館65周年の今年6月、1年の工事休館を終えリニューアルオープンしました。

### 建築見学ツアー応募方法

音楽堂ホームページ「前川建築見学ツアー応募フォーム」より  
9/12 10:00 受付開始  
参加費 500円(資料代・保険料含む) 先着順(定員になり次第 受付終了)

## 県立青少年センターで前川建築を学ぶ

神奈川県立青少年センター  
045-263-4400

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ch3/>



県立青少年センター



紅葉坂ホール

2019年10月11日(金)  
第1部 14:00～16:15  
第2部 18:30～20:00

第1部 「たてものツアー」  
センターの「たてものツアー」と「舞台バックヤードツアー」(10人以下のグループに分かれ、建物の外部と内部を歩いて見学します。所要時間はたてもの30分程度、舞台バックヤード30分程度。各グループとも両方を見て回ります。終了後、ご希望の方を横浜市民ギャラリーのギャラリーツアーへご案内します。

第2部 「紅葉ヶ丘の前川建築を語る」  
(株)前川建築設計事務所橋本所長による講演

### 対象

どなたでも参加できます。  
※建物の内部は階段の昇降があります。  
また、暗いところ、狭いところを通ります。

かながわ伝統芸能祭「人形浄瑠璃文楽」 神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール  
2019年10月13日(日) 昼の部 12:30開場 13:00開演/夜の部 16:30開場 17:00開演  
全席指定 一般:3,400～1,500円、学生:1,000円

主催:神奈川県立青少年センター 協力:bridge

### 会場紹介

戦後モダニズム建築の旗手とされる前川國男の設計により1962年に竣工。打ち放しコンクリートと、日本古来の焼き物を打ち込みタイルとして使用している外観が特徴。竣工時は地上5階建てであったが、大改修を経て地上3階建てとなったため、建物の随所に5階建て当時の面影が残る。

### 申込方法・申込期間

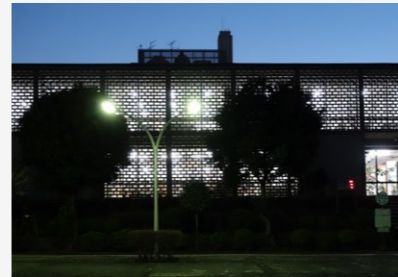
(定員) 第1部60名、第2部60名。応募多数の場合は抽選。  
(申込期間) 2019年7月26日(金)～9月13日(金)  
①イベント名②第1部又は第2部の別③住所④氏名(ふりがな)⑤電話番号⑥人数(2名まで)を明記のうえ、次のいずれかの方法によりお申込みください。  
・メール(当センターホームページの参加申込フォームメールより申込)  
・ハガキ 〒220-0044 横浜市区紅葉ヶ丘9-1  
・ファクシミリ 045-241-7088

※第1部、第2部は別々の申込みとなります。第1部のみ、第2部のみのお申し込みが可能です。両方に参加したい方は第1部と第2部を別々にお申込みください。

## 図書館大公開「図書館建築ツアー(館内撮影OK)」

神奈川県立図書館  
045-263-5900

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/>



本館正面



本館閲覧室 ※写真は撮影当時のものです

2019年10月10日(木)  
10:00～12:00

イベント当日は、最初に建築時の模様を撮影した映像を上映し、特徴と見どころをご案内します。その後、通常開館日には実現できない、館内撮影タイムを設けます。映画やドラマの撮影地にもなった雰囲気のある館内を撮影できる貴重な機会です。カメラを持参の上、ご参加ください。

定員 30名  
◎申込多数の場合は抽選となります  
◎当日、三脚は持込みいただけません。また、動画の撮影はできません。あらかじめご了承ください。なお、当日は図書館休館日です。

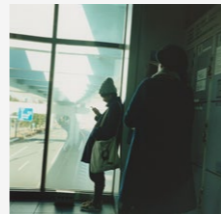
神奈川県立図書館の歴史ドキュメント 16ミリ・DVD上映会 県立図書館多目的ルーム  
2019年10月12日(土) 10:00～11:30 入場無料  
途中入場・途中退出が可能です。事前申し込み不要、直接ご来場ください。  
県立図書館の建築時の映像(65年前)、県立図書館の一日を伝える映像(50年前)などを上映します。

主催:神奈川県立図書館

## 新・今日の作家展2019 学芸員によるギャラリーツアー

横浜市民ギャラリー  
045-315-2828

<http://ycag.yafjp.org/>



出品予定作品:原美樹子《Kyrie》より、Untitled 2015年



横浜市民ギャラリー施設全景 撮影:上杉明

2019年  
①10月10日(木) 15:30～16:00  
②10月11日(金) 16:45～17:15

横浜市民ギャラリー開館から40年にわたり開催された「今日の作家展」を継承した現代美術を紹介する年次展覧会を学芸員のガイド付きでご案内。横浜能楽堂や神奈川県立青少年センターと横浜市民ギャラリーを一度にお楽しみいただく貴重な機会です。出品作家:鎌田友介、原美樹子、守章、門馬美喜

新・今日の作家展2019 展示室地下1階/1階  
2019年9月20日(金)～10月12日(土) 10:00～18:00(入場は17:30まで) 会期中無休 入場無料  
「対話のあとさき」をテーマに同時代の作家を紹介し、現代の表現を考察

主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)

### 会場紹介

1964年に開館した市民のためのギャラリー。市民の制作発表の場として展示室6室、創作の場としてアトリエ施設を持つ。また「新・今日の作家展」「コレクション展」「横浜市こどもの美術展」の3つの企画展や、子どもから大人を対象としたアトリエ講座を通年で開催。

### 参加方法・申込方法

参加無料、予約不要  
10/10は、「横浜能楽堂秋の特別見学会 午後の会」(14:00～15:00)の後に、10/11は、「県立青少年センターで前川建築を学ぶ第一部」(14:00～16:15)の後に、当館にご案内いたします。

## 横浜能楽堂 秋の特別見学会

横浜能楽堂  
045-263-3055

<http://ynt.yafjp.org/>



横浜能楽堂 本舞台



狂言「附子」(和泉流)

2019年10月10日(木)  
①昼の会 14:00～15:00  
②夜の会 19:00～20:00

「能も狂言も、実際には見たことがない」、「興味はあるけれど、敷居が高そうで・・・」、そんな方にお勧めです。まずは気軽に舞台と舞台裏を見学して、日本の古典芸能を感じてください!今回は紅葉ヶ丘まいらん見学会として、①昼の会は横浜市民ギャラリーのギャラリーツアー連携、②夜の会は日本国内でも珍しい木の貯水槽をご覧いただく特別企画です。

普及公演 横浜狂言堂 10月 横浜能楽堂 本舞台  
2019年10月13日(日) 13:00開場 14:00開演  
毎月第二日曜日は「横浜狂言堂」の日。狂言2曲と解説付きで2,000円!気軽に狂言を楽しめます。  
お話/野村万之丞 狂言「鎧腹巻」(和泉流) 野村万蔵 狂言「附子」(和泉流) 野村拳之介  
入場料:全席指定2,000円 チケット発売:9月7日(土)正午より(初日は電話・Webのみ)

主催:横浜能楽堂 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

### 会場紹介

ユネスコの無形文化遺産にも指定されている能楽。その能楽専門の舞台が横浜にもあるのをご存じでしたか?横浜能楽堂の本舞台は明治8(1875)年に旧加賀藩主・前田齊泰邸に建築され、大正8(1919)年に東京染井(現在の駒込)松平頼寿邸に移築された「染井能舞台」と呼ばれ、昭和40(1965)年の解体まで親しまれました。本舞台は保存されていた部材を復元、活用したものです。

### 参加方法・申込方法

①昼の会:予約不要。当日直接、1階ロビーへ。  
②夜の会:定員75名。9月1日(日)12:00から先着順(定員になり次第受付終了)。電話(9:00～18:00)またはメール(nougaku@yaf.or.jp)で申込み。メールの場合は、件名「秋の特別見学会②参加希望」で氏名、電話番号(当日も連絡が取れる番号)、参加人数(2名まで)を明記。  
◎靴を脱いで見学する場所がありますので、靴下等をご持参ください。